



よく手を洗いましょう!
感染性胃腸炎

感染症発生動向速報

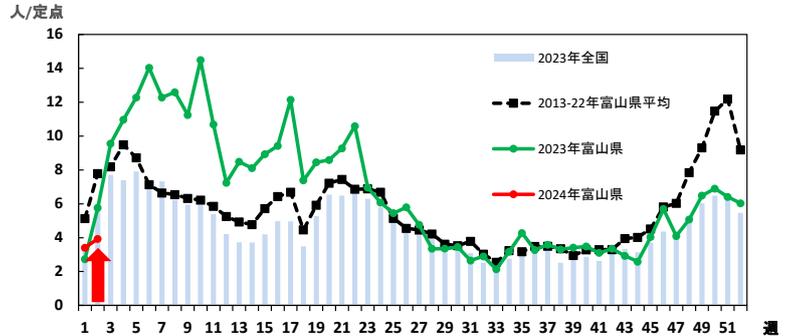
(令和6年第2週分・1月8日～1月14日)

《インフォメーション》

●**感染性胃腸炎**

今週(令和6年第2週)、県内の小児科定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告数は3.93人/定点(右図矢印)となり、先週の3.41人/定点より増加しました。例年冬季に患者報告数が増加する傾向があり、特に昨年は2～3月にかけて全国平均を大きく上回る県内の発生が報告されました(右図参照)。今後の動向に注意が必要です。

感染性胃腸炎患者報告状況(全国、富山県)



感染性胃腸炎は、ウイルスまたは細菌などの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。原因はウイルス感染(ノロウイルス、サポウイルス等)が多くを占めます。特にノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、冬季に増える傾向があります。

ノロウイルスは、小児では主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃感染によって広がります。ウイルスに感染後24～48時間の潜伏期を経て、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等を引き起こします。抗ウイルス薬やワクチンはないため、対症療法が中心になります。また、ノロウイルスの排出は症状の消失後も数週間ほど続きます。ノロウイルスは感染性が強く、アルコール消毒が効きません。汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります。

次のことに注意してノロウイルスによる感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、手を洗う。
- 糞便や吐物は、マスク・手袋を着用したうえで、塩素系消毒剤等を用いて処理する。
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱(中心部が85℃～90℃で90秒以上)して食べる。
- 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 2件 (①第1週診断分: 70歳代、男性 ②70歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 4件 (①第51週診断分: 60歳代、女性 ②第52週診断分: 60歳代、男性 ③60歳代、女性 ①～③全て肺炎型 ④80歳代、男性、ポンティアック熱型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 (①80歳代、女性、B群 ②90歳代、女性、G群)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (60歳代、女性)
- 梅毒 1件 (第1週診断分: 80歳代、男性、無症候)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	インフルエンザ	12.04 (↑)	10.38
2位	COVID-19	7.90 (↑)	6.56
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.52 (↑)	1.83
4位	感染性胃腸炎	3.93 (↑)	3.41
5位	咽頭結膜熱	2.41 (↑)	2.07
6位	水痘	0.41 (↑)	0.10



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第2週 令和6年1月8日～令和6年1月14日）

分類	疾患	今週報告分（第2週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核		1				1		1	1		2	4
	四類感染症	レジオネラ症			1		1	2		1		2	3	
	五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			2			2		2			2	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症				1		1			1		1	
	梅毒								1			1		
定点把握	インフルエンザ/ COVID-19定点 (48定点)	インフルエンザ	76	56	190	78	178	578	178	141	270	171	316	1,076
		COVID-19	66	40	96	68	109	379	139	74	170	130	181	694
上段：報告数、 下段：定点医療機関当たりの報告数	小児科定点 (29定点)	RSウイルス感染症					8	8			1		8	9
		咽頭結膜熱	2	4	25		39	70	4	10	46	1	69	130
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	10	89	5	19	131	10	15	111	6	42	184
		感染性胃腸炎	18	17	22	9	48	114	36	26	30	14	107	213
		水痘			4	4	4	12		1	4	5	5	15
		手足口病		1	2			3		1	5			6
		突発性発しん		1	3	3		7		2	3	3		8
		ヘルパンギーナ	4				1	5	8			1	1	10
		流行性耳下腺炎			1			1			1	1		2
		眼科定点 (7定点)	流行性角結膜炎					1	1	1		2		2
入院サーベイランス (5定点)	インフルエンザによる入院患者（※1）	6			4	9	19	17	8	21	35	43	124	
	COVID-19による入院患者	4	15	3	7	15	44	9	17	8	10	23	67	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週(9月5日)～の集計です。

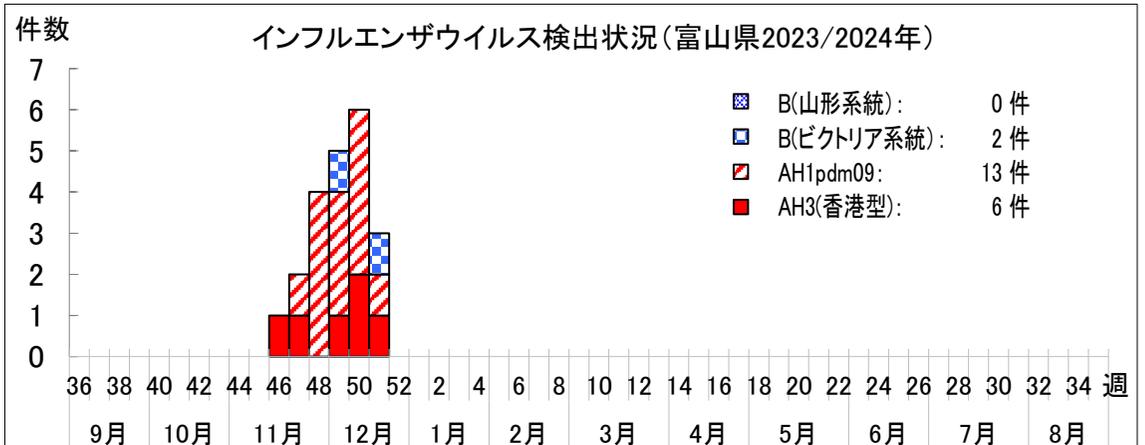
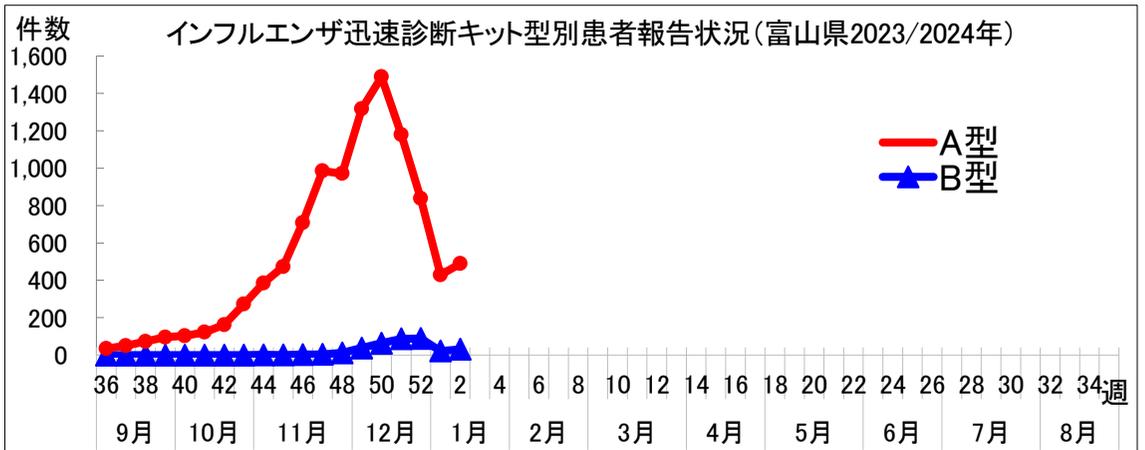
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、A型が84.6%となっています。

第2週(1/8~1/14)：富山県 12.04人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	72	4	0	76
中部	5 / 5	41	8	7	56
高岡	12 / 13	148	6	36	190
砺波	7 / 7	73	3	2	78
富山市	16 / 16	155	10	13	178
富山県	45 / 48 ^{※1}	489	31	58	578
富山県累計(2023年36週~)		10,177	353	655	11,185

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が45か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





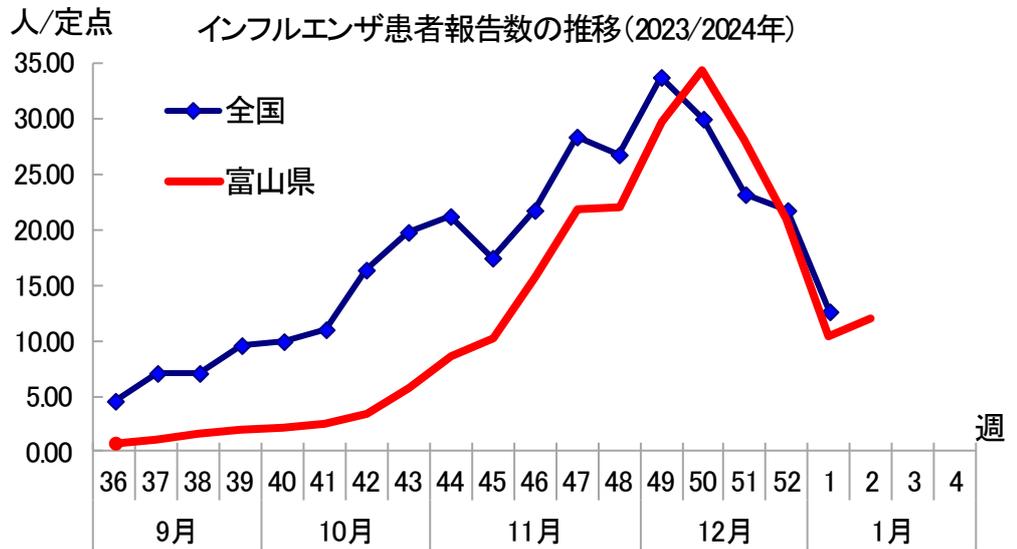
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第2週 (1/8~1/14) : 富山県 12.04 人/定点

新川 HC (10.86)、中部 HC (11.20)、高岡 HC (14.62)、砺波 HC (11.14)、富山市 HC (11.13)

全国の患者報告数は、第1週に 12.66 人/定点となり、第52週と比較して大幅に減少しました。

県内の患者報告数は、今週 12.04 人/定点となり、先週と比較してやや増加しました。

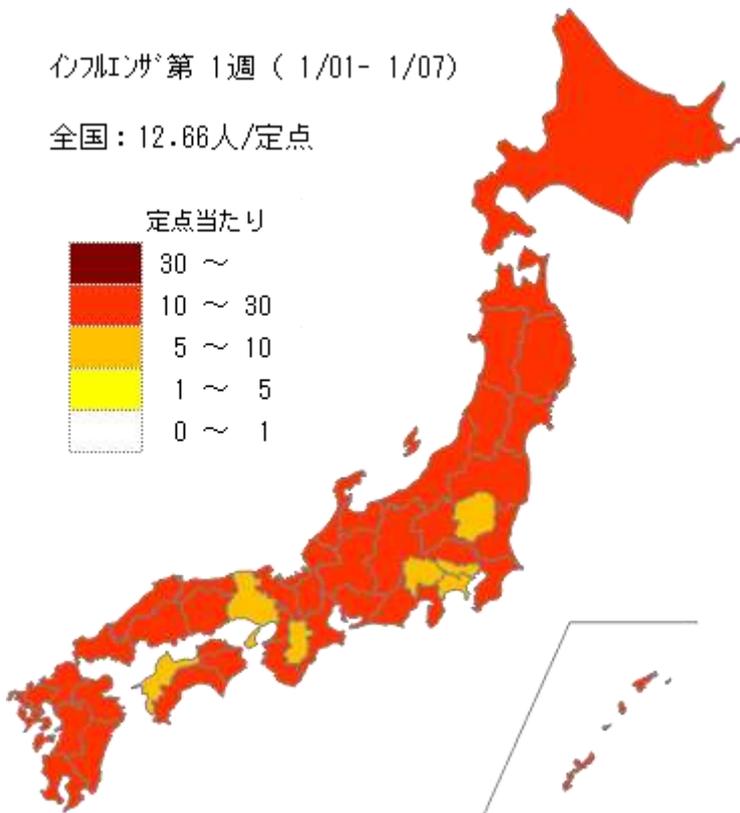
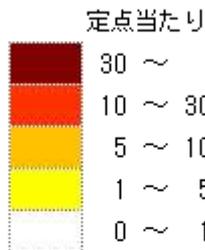


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第1週 (1/1~1/7)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 12.66 人となり、前週の 21.65 人より減少しました。2 県で前週より増加しています。45 都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第1週 (1/01- 1/07)

全国: 12.66人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	10.15 ↓	滋賀県	14.93 ↓
青森県	12.66 ↓	京都府	11.16 ↓
岩手県	12.56 ↓	大阪府	11.67 ↓
宮城県	11.26 ↓	兵庫県	9.91 ↓
秋田県	17.37 ↓	奈良県	8.25 ↓
山形県	10.74 ↓	和歌山県	10.63 ↓
福島県	16.46 ↓	鳥取県	13.79 ↓
茨城県	22.34 ↓	島根県	11.66 ↓
栃木県	7.97 ↓	岡山県	10.98 ↓
群馬県	10.44 ↓	広島県	10.85 ↓
埼玉県	13.82 ↓	山口県	11.22 ↓
千葉県	14.58 ↓	徳島県	13.59 ↓
東京都	7.83 ↓	香川県	13.85 ↓
神奈川県	7.77 ↓	愛媛県	9.97 ↓
新潟県	11.02 ↓	高知県	16.39 ↓
富山県	10.38 ↓	福岡県	17.29 ↓
石川県	12.84 ↓	佐賀県	12.49 ↓
福井県	11.15 ↓	長崎県	16.94 ↓
山梨県	8.44 ↓	熊本県	15.94 ↓
長野県	13.44 ↓	大分県	19.21 ↓
岐阜県	20.82 ↑	宮崎県	26.05 ↓
静岡県	11.59 ↓	鹿児島県	14.89 ↓
愛知県	16.94 ↓	沖縄県	18.85 ↑
三重県	13.82 ↓	全国	12.66 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（令和5年12月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		12月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			2		10	12		5	30		110	145
				0.67		2.50	1.20						
	性器ヘルペスウイルス感染症		3	1		7	11	1	12	3	5	62	83
			3.00	0.33		1.75	1.10						
尖圭コンジローマ				1		3	4		1	5	9	12	27
				0.33		0.75	0.40						
淋菌感染症								1	1	3		26	31
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	2	6		7	16	28	15	24	8	132	207
		1.00	2.00	6.00		7.00	3.20						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1		2			3	1		10		14	25
		1.00		2.00			0.60						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。